

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2単位 日本語教育能力	日本語教授法Ⅱ	矢端晴美	1年次	春

授業のキーワード	日本語 国語 文法
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	日本語を言葉の仕組み＝文法という観点から整理・分析する。外国語と比較して、日本語らしい表現を学ぶ。
履修のアドバイス・ 前提科目等	「国語」で文法が苦手だった人は、日本語文法を改めて学習するチャンスです。「日本語教授法Ⅰ」を履修し、さらに「日本語教授法Ⅲ」「日本語教育能力検定対策講座」で日本語の世界の理解を深めてください。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	文法とは 日本語 文法と国文法	文法とはなぜ必要なのでしょう。文法で学ぶものはどんなことなのでしょう。国語教育と日本語教育それぞれにおける「文法」の意味、位置づけを学習します。	第9講	主語と主題	日本語の文に主語は必要でしょうか。主題という概念とともに考えましょう。
第2講	文型教育と提出順序	日本語教育における意味で文型教育ともいえます。どんな順序で提出したら、日本語が学びやすく、また使えるようになるのでしょうか。	第10講	「こそあど」詞： 指示詞	初級で導入する「これ、それ、あれ、どれ」の使い分け方、また眼前指示用法、文脈指示用法について考えます。
第3講	品詞分類	日本語教育と国語の品詞分類の違いを学びます。	第11講	形容詞①分類「いい天気」「きれいなお人」「彼が恥ずかしい」は誰が恥ずかしい？	日本語教育ではイ形容詞とナ形容詞の二種類を形容詞としています。また意味・機能から属性形容詞、感情形容詞の二種類も分類できます。それぞれの使い分け用法を考えます。
第4講	動詞の活用（第1講）「動詞の活用による分類」	国文法の活用の問題点を考えながら、日本語教育の動詞の活用による分類をします。	第12講	「～たい」「ほし い」：希望・要求の 表現	「～たい」という語は国文法では助動詞ですが、日本語教育では形容詞として扱います。その理由をなぜでしょうか。
第5講	動詞の活用（第2講）「動詞の分類の仕方」	日本語母語話者と学習者の動詞の分類の見分け方の違いを考えます。学習者になった気持ちで考えましょう。	第13講	「いる」と「ある」 存在文と所在文、 自動詞と他動詞	「学校に駐車場がある」「学校で友達がいる」のいる・あるの使い分けを学習します。「ドアが開く」「ドアを開ける」「コップが割れた」「コップを割った」といった自動詞・他動詞の区別を学習します。
第6講	動詞の活用（第3講）「動詞の活用形の作り方」	動詞の分類をしたがって、「可能形」「受身形」「使役形」「て形」の作り方を考えます。ら抜きことば、さ付きことばがどのようにして生まれたかも見えていきます。	第14講	まとめ	
第7講	日本語の文法的特徴	日本語の語順、テンス、アスペクト、ムード等から日本語の文法的特徴を見ていきます。	第15講	期末試験	
第8講	名詞文「～は～です」	初級日本語で最初にでてくる文型、名詞文の教え方、注意点を考えます。	評価方法		出席10% レポート20% 試験70%
備考 (関連する資格・試験等)		日本語教育能力検定試験対策「文法」の一環となります。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識 高見沢孟監修 アスク出版			教えるための言葉の整理vol.2 丸山敬介 凡人社 やさしい日本語のしくみ 庵功雄他 くろしお出版		